

ココステージ伊丹教室をご利用の皆様、令和2年度のご利用及び事業所評価にご協力いただきありがとうございました。多くのご回答をいただくことができました。皆様方からの評価をもとに現状の評価をし、改善策を立てました。より良い支援のため、職員一同今後一層の努力をしていきます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。いつでも忌憚なくご意見をお寄せいただけましたら幸いです。

令和3年1月末日 ココステージ伊丹職員一同

アンケート回収率 職員100%、保護者58%

【基準】 達成 (80%~100%が「はい」と回答) ほぼ達成 (60%~79%) 未達成 (60%未満)

	ココステージ伊丹 事業所評価 チェック項目	全体評価	保護者	保護者からいただいたご意見	改善策
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。(保護者評価項目1)	達成	達成		職員の配置人数に関しては、契約時や面談時に説明を行うことで、不明点を解消している。
	2 職員の配置数は適切であるか。(保護者評価項目2)	ほぼ達成	ほぼ達成		施設内では視覚支援を行うことで「いつ」「どこで」「何を」「どのようなやり方で」「どうなったら終わりか」「終了後必要な行動は」といったように、環境や活動を視覚的に示すとともに、こどもの活動を明確化することで、こどもにとってわかりやすい環境設定を行いより良い支援に努めている。
	3 事業所の設備等について、障がい特性に応じ、バリアフリー化の配慮や情報伝達への配慮が適切になされているか。(保護者評価項目3)	達成	達成		
	4 生活空間は清潔で子供に分かりやすく構造化された環境になっているか。	ほぼ達成			
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	達成			
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	達成			平日休日ともに、職員でのミーティングを行い、PDCAサイクルに沿って当日のスケジュールを図るとともに、児童の状況や重要事項などがあれば、必要に応じてホワイトボードに記入したり申し送りを行うことで、支援中でも職員全員に把握しやすいよう努める。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善内容を事業所の会報やホームページ等で公開しているか(予定はあるか)。	達成			
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか(予定はあるか)。	達成			
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	達成			
	10 職員は子どもの支援について意義を感じ工夫し楽しむことができているか。(保護者評価項目14)	達成	達成	子どもが高学年になるにつれて、仲の良い友達に左右されることがある。	
適切な支援の提供	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用し、アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画書を作成しているか。(保護者評価項目4)	達成	達成		
	12 個別支援計画書にはガイドライン総則の基本活動や「発達支援」「家族支援」「地域支援」で示された内容から必要項目が適切に選択され、子どもの状況に応じて個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成しているか。	達成			
	13 活動プログラムの立案をチームで行っているか。(保護者評価項目6)	達成			児童一人ひとりの支援課題を職員全員が把握できるよう個別支援計画書の精読をするとともに、毎日ミーティングを行うことで、こどもの現状を知り、支援に対する共通認識を図っている。
	14 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか。	ほぼ達成			
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	達成			支援の振り返りを行い、「この時はこうすればよかった」「こういう時はどうすればよいか」など職員間で意見を出し合い、今後の療育支援に活かせるよう支援終了後のミーティングの時間も確保できるようにしていく。
	16 支援終了後には、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を職員間で共有しているか。	未達成			
	17 個別支援計画に沿った支援を行っているか。(保護者評価項目5)	ほぼ達成	達成	どのような状況で、どう対応したかなど、詳細が連絡帳には記載されていないので、わからない。	
	18 日々の支援に対して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	達成			
	19 定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか。	達成			
20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	達成				

関係機関や保護者との連携	21	学校等関係機関との情報共有(年間計画・行事・予定等の交換、子どもの下校時の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	ほぼ達成			
	22	(医療的なケアが必要な子供を受け入れる場合) 子どもの主治医、地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか。	未達成			
	23	移行支援として、保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所、学校、特別支援学校等の間で、支援内容の情報共有と相互理解を図っているか。	未達成			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等をしているか。	達成			
	25	他の児童発達支援センター、児童発達支援事業所、発達障がい支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	未達成			
	26	放課後等児童クラブや児童館との交流、地域の公共施設の利用等、障がいのない子どもと活動する機会があるか。	未達成			保護者会については、アンケートや聞き取りを行うことで、参加の希望を把握するとともに、希望があれば、定期的なセミナーの参加や、保護者参加型のイベント等検討していく。
	27	(地域自立支援)協議会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	未達成			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。(保護者評価項目8)	達成	達成	送迎時、職員によっては、話してくれる人とそうでない人がいるため、全員から日頃の状況など聞けるように努める。	面談や電話相談、送迎時での保護者対応を通して、保護者のニーズを聞き取るとともに、支援内容の見直しや、今後の課題等の提案を検討していく。必要であれば、学校や相談支援所と連携し、支援に関しての共通認識と支援向上のための情報交換等を行っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)を行っているか。	ほぼ達成			
	30	ガイドラインや個別支援計画書を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画書の同意を得ているか。(保護者評価項目7)	達成	達成		
	31	保護者の苦情、相談や要望に対して適切な面談や助言等の支援を行っているか。(保護者評価項目9)	達成	達成		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催したりする等により、保護者同士の連携を支援しているか。	未達成			
	33	定期的に連絡帳や会報、ホームページ等で活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。(保護者評価項目11)	達成	達成	メールで外出先や変更などを知らせていただき、急な対応にも迅速に対応してもらっている。	
	34	個人情報の取り扱いに十分注意しているか。(保護者評価項目12)	達成	達成		
35	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。(保護者評価項目10)	達成	達成			
非常時の対応	36	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。	未達成			
	37	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか。(保護者評価項目13)	達成	ほぼ達成		
	38	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	達成			
	39	事前に服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	達成			新型コロナウイルス感染症及びそのた感染症に関しては、書面にて保護者に配布し、周知徹底していく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	達成			ヒヤリハットに関しては、職員自ら自主的に記入するよう促し、ミスの防止・予防を徹底していけるよう改善に努めるとともに、職員間で共有出来るようミーティング時に議題として取り入れていく。
	41	食物アレルギーのある子どもについて、主治医の指示に基づく対応がされているか。	達成			
	42	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画書に記載しているか。	達成			
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	達成				